

# 介護特集

## 生活の中のリハビリや地域交流で「みんなが元気になるホーム」

有料老人ホームとひと口に言っても、中身は様々。ハード面はもちろん、コンセプトや介護サービスの提供方法、スタッフの心構えなどソフト面によっても入居後の人生は大きく変わる。老人ホーム選びに見学や体験入居が必須といわれるゆえんだ。西宮市の介護付有料老人ホーム「やすらぎ（全75室）のコンセプトは「元気になるホーム」。その思いを支配人の田島重子さんにうかがった。

### 最寄り駅から7分 病院の隣のホーム

阪急・阪神の今津駅から落ち着いた住宅街を歩くこと数分。西宮協立脳外科病院のそばに「やすらぎ」はある。おしゃれな吹き抜けのエントランスホールで、支配人の田島さんが笑顔で迎えてくれた。

「駅から近かったでしょう？このアクセスの良さ、検査や手術、入院ができる提携病院が隣にある安心感、2人入居が可能なゆとりのある居室、個別のケアやリハビリで機能を維持向上させ、元気になる…」これがやすらぎの特長であり魅力です」

田島さんは長年、東京や大阪で有料老人ホームの立ち上げから運営、スタッフ教育などに携わってきた。豊富な経験から導き出した施設介護の極意は「入居者も家族もスタッフも地域も元気になるホーム」。やすらぎの取り組みには、田島さんの熱い思いが詰まっているのだ。

### 外部サービス利用で個別ケアを実現

介護付有料老人ホーム（特定施設）には、施設のスタッフが介護する「包括型」と、外部の提携事業者が介護する「外部サービス利用型」がある。田島さんは「元気になるカギの一つを「外部サービス利用型の活用」と話す。

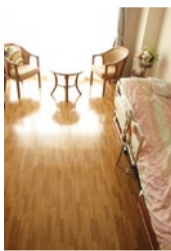
「外部サービス利用型特定施設は個々に訪問介護や訪問看護を利用し、地域の通所リハビリやデイサービスに通います。自分でサービスを選び、自分のペースで地域社会とつながる暮らしには張り合いが生まれず。さらに施設内には常勤の理学療法士、作業療法士があり、一人ひとりの生活に合わせた機能訓練をおこないます。その結果、百歳になっても自分の足で歩き、しっかりと食事を摂る方もいらつやいますよ」

つまり、ヘルパーによる1対1の訪問介護施設内の見守りやリハビリ、左の写真のような地域の学生ボランティアや幼児との交流など、パランスの良い開放的な生活が、入居者本人もスタッフも地域も元気にするといわけだ。

### 開かれた施設は街の元気のもと！

「もう一つの元気のカギはスタッフ教育と地域への発信」という田島さん。地域に向けた市民健康講座や介護の悩み相談を看護師らと開催し、人材育成と地域貢献に努めている。

最後に館内を案内していた。広めの居室にはミニキッチンや収納、浴室も。窓から電車が見えるのも楽しい。見学会で、この温かい雰囲気確かめてみては？



約24㎡と約27㎡(浴室付)の居室。2人入居可



作業療法士が嚥下機能を確認しながら食事介助



武庫川女子大ミュージカル部隣の保育園の子どもたちとの学生が出演公演 毎月交流している



個別リハビリで、100歳超も自力歩行! 食事レクリエーションでプロの職人がずしを握る

### 無料見学会開催

6/6(水)14時~出張カフェ体験  
6/13(水)11時~食事つき  
6/20(水)11時~食事つき

各日5組限定  
電話にて要予約

※出張カフェのメニュー例

0120-4165-99

### 外部サービス利用型特定施設 介護付 有料老人ホーム やすらぎ

西宮市津門岡野町9-10  
0120-4165-99  
http://www.k-medis.co.jp/

### この方に伺いました /

介護付有料老人ホーム やすらぎ 支配人 田島重子 さん

(たしましげこ)介護支援専門員・管理栄養士。介護保険スタート時に病院の管理栄養士からケアマネジャーに転職。有名ブランドの有料老人ホームの立ち上げやスタッフ教育でキャリアを積む。4年前から現職



(取材文・渡部せつ子)



車いす+追加2名まで乗車可能。

介護タクシーというサービスがあるのをご存じだろうか。一人で外出することが難しい高齢者や障害のある人をサポートするタクシーのことで、病院までの送迎と付き添いが主なサービスとなっている。ただし、介護保険適用にはケアマネージャーによる「認知症サポーター」のサポートが必要。全国的に認知症サポーターの数は増加しているが、認知症の人や家族の応援者。2004年、痴呆から認知症に呼称変更となったのを機に「認知症サポーター100万人キャラバン」がスタート。全国の自治体で認知症を知り、認知症サポーター養成講座が開かれ、認知症サポーターが徐々に増えている。今年3月には全国で1千万人を超えた。

### こんな方が利用可能

- 不意のケガなどによる通院
- 移動中だけ車いすが必要な方
- 電車バスの移動が不安
- 要介護1以上又は障害のある方

※その他の必要な介助や買い物・郵便局・宅配便の配達手配や受取代行・墓参り・レジャーや散歩・用品の処分など幅広いサービスに対応しているので、なんでも気軽に相談してみよう!

「お墓参りタクシー」  
お墓のプロが現地でお墓参りのお手伝いを全て無料で対応! 大事なお墓を長持ちさせる為のお墓診断付き!  
※お線香・ローソク・お焼香 運賃以外全てサービス

### 病院の受診・買い物・墓参り・レジャーなど 便利な介護タクシーを利用して充実した毎日を

介護タクシーというサービスがあるのをご存じだろうか。一人で外出することが難しい高齢者や障害のある人をサポートするタクシーのことで、病院までの送迎と付き添いが主なサービスとなっている。ただし、介護保険適用にはケアマネージャーによる「認知症サポーター」のサポートが必要。全国的に認知症サポーターの数は増加しているが、認知症の人や家族の応援者。2004年、痴呆から認知症に呼称変更となったのを機に「認知症サポーター100万人キャラバン」がスタート。全国の自治体で認知症を知り、認知症サポーター養成講座が開かれ、認知症サポーターが徐々に増えている。今年3月には全国で1千万人を超えた。

総人口に対する認知症サポーターの割合が10パーセント超で、神戸市や西宮市の約2倍も多いことだ。その理由を芦屋市地域福祉課の担当者は「人口が少ない分、地域の事情に合わせた活動がしやすい点や小・中学生やボランティアの研修に養成講座を取り入れていることがいい影響を与えているのでは」と。実際、講座を受けた中学生が、道に迷ったお年寄りを助けたといった事例もあるそう。認知症サポーターが地域の課題解決のカギになっているのが分かる。養成講座は1回90分。



芦屋市では小学生を対象にした認知症サポーター養成講座で成果を上げている。



中央のプレサットは認知症サポーターの目印として講座修了者に配られる「オレンジリング」。上のロボの工作は認知症サポーターキャラバンのマスコット。ロボのように一歩ずつ確実に理解を深めようという意。

### 芦屋市社会福祉協議会 ボランティア活動センター

TEL 0797-32-7525  
FAX 0797-32-7538  
http://ashiya-shakyo.com/publics/index/51/

「認知症サポーター」は、認知症の人や家族の応援者。2004年、痴呆から認知症に呼称変更となったのを機に「認知症サポーター100万人キャラバン」がスタート。全国の自治体で認知症を知り、認知症サポーター養成講座が開かれ、認知症サポーターが徐々に増えている。今年3月には全国で1千万人を超えた。

芦屋市では市民5人以上が集まれば出前講座も。他市の方はお住まいの市にお尋ねを!

### この方にうかがいました!

芦屋市社会福祉協議会の木村千絵さん。「一人でも多くの方に認知症サポーターになっていただき、地域福祉の担い手に!」

### 一般社団法人 共益社 プーさん介護タクシー

神戸市長田区久保町6-1-1  
アスタくづか4番館202  
受/平日9時~17時  
078-647-7533(月~土)  
080-5630-6777(日祝)  
担当者:下山 ※完全予約制

### 私がお迎えに行きます! / 下山謙三さん

普通自動車第二種免許(ゴールド免許保持) 介護福祉士有資格保持 親切丁寧にご希望の場所へご案内します。是非お気軽に何でもご相談下さい。

「シティライフを見た」と予約の方は  
●迎車料金...無料! ●車いす貸し出し...無料!  
●車いす介助...無料! ●病院内付添い受診500円(30分毎)